

- ・生きているだけで奇跡
- ・自分の命を自分で守る
- ・命より大切な物はないです
- ・自分の命を第一に考えて欲しい
- ・生きれる命なら大切にしてください
- ・身を守る事はまわりとの関わりも大切にすること
- ・とにかく生きて。生きてたらまた会えるから。
- ・生命の尊さを心に刻み、資源を大切にしてください
- ・生きていれば、何とかなる。防災を学んで、必ず生きよう。
- ・今あるあなたたちの命は、当時、助かった人たちが紡いでくれた命。
- ・何ごとにも変えれない命。これからの人生、命を守る事を最優先に。
- ・震災経験者です。どんな状況でも一番に自分の命を大切に守って下さい。
- ・命を守る行動を。たくさんの人に助けられて大人になれた今、次はあなた達を守れるように。
- ・震災では多くの犠牲者がいました。今ある命をしっかりと大切に持って、生きて行ってください。
- ・今感じる不安、悩み、辛いこと、幸せなこと、楽しいこと全て命あるから感じられることであり、命を大切に命の尊さを忘れないでほしい。
- ・備えや身の守りかた、避難方法などの重要性
- ・防災リュックには好きなものを入れておくこと。
- ・もし災害が起こったらを想像して備えてください
- ・災害時に待ち合わせ場所や公衆電話の使い方を確認しておく。
- ・震災を体験し普通の生活が幸せな事だと実感。備えは大切です。
- ・災害がいつ周りに起こっても慌てないように、いつも備えていてください。
- ・家具を倒れないようにしたり、食料をストックするなど、出来る備えは積極的にして欲しい。
- ・「明日やろう」「後でやろう」という考え方は、いざというときに困ります。毎日用意万全で！
- ・阪神・淡路大震災のことは今でも鮮明に覚えています。いつ起きてもおかしくない地震に備えて日頃から準備をしておきましょう。
- ・災害は突然起こります。そして突如にして大切な人を失う事が起こるかもしれません。しかし、日ごろの少しの備えでそれを防ぐ事ができます。
- ・私自身震災当時はまだ1歳で記憶にはありません。今後大きな震災がいつ来るかわからない今、しっかり動けるよう一緒に考えていきましょう。
- ・じぶんにも起こるかもしれないこれから来る地震に備えられるように起きた時の行動など出来ることからいざに備えられるよう大事なことを伝え続けていきたい。
- ・日頃から災害への備え、避難への心構えを学びいつ来るかわからない災害にも自分の身を守れるよう、可能な限り人を思い助けられる自分になってほしいです。
- ・とにかく家族を大切にしてください
- ・震災で辛い思いをした方がたくさん居ると思うと、家族で過ごせていることが、幸せ
- ・災害は突然で今の生活は当たり前では無いので、非常時の事を家族と話し合っって欲しいです。
- ・災害は、いつ起きてもおかしくない状況であるからこそ、災害が起きた時の状況にどうすべきか家族と考えてほしいです。
- ・災害は急に、何処でも場所関係無くきます。当時、まさか神戸でこんな大きな地震がくるとはと誰もが思いました。家族でしっかり話をして準備をして、もし災害が起きた時も皆で助け合う優しい気持ちを持って欲しいです。
- ・家族との連絡の取り方、待ち合わせ場所、阪神大震災は早朝で家族全員家にいましたが、東日本大震災のように家、学校、職場、それぞれバラバラだったらと想像するだけでゾッとします。家族と会える方法を確認してほしいです。
- ・日頃から防災の意識を持っていると、いざという時に自分や大切な人を助けることに繋がります。
- ・色々な意味で、忘れないでほしい。
- ・忘れてはいけない。未来につなごう。
- ・体験しないと分からない事も多いけど、体験する時にはもう遅い。
- ・他人事ではなく、私たちの町でついこの前起こったことなのを忘れないで。
- ・災いから救われた母、生まれた君の命、噛みしめて大切に人生育くもう。
- ・小学3年生のときに被災しました。震災は他人事(ひとごと)ではありません。
- ・震災は過去の話ではありません。これからの未来の為に今できることを尽くしましょう。
- ・いつ起こるか分からない地震。一度体験すると小さな揺れも怖くなる。地震を甘く見ないで。
- ・命があるということは当たり前ではないよ。震災で生きたくても生きられなかった人がいるのを忘れないで。
- ・震災教育の時に毎回みんなで歌っていた「幸せ運べるように」のようにじんわりと心に残る気持ちを大切に過ごしてほしいと思います。そしていざという時にはその柔らかな優しい気持ちで乗り越えていけるといいなと思っています。
- ・常にどこが避難場所かを認識しておく
- ・急に起きる事だから慌てないで対処できるように準備しときましょう
- ・今を楽しく生きてほしいし、もし被災した時には自分は大丈夫と思わずに命を守る行動をとって欲しいです。
- ・東南海地震が来ると言われていますが、そのときにどう動けば良いか、シュミレーションをしとくと良い。まずは、自分の命を守ること。
- ・震災は今まで普通だったことが一瞬で全てがなくなります。でも、その時に自分がどういう行動をするか、新たに新しい出会いもあり、助け合いもあります。それも未来に繋がる新しい絆になるので大切にしてください。
- ・毎日を大切に生きてください。
- ・平穏な毎日がどんなに大切か改めて考えてほしい。
- ・毎日を大切に生きていくこと、それが1番の防災だと私は思います。
- ・たくさんの人たちが復興に携わってくれたお陰で今の神戸の街がある事。
- ・日常は当たり前では無い。毎日を大切に感謝の気持ちを持って過してほしい。
- ・「当たり前の一日」を過ごせることに感謝できるような人になってほしいです。
- ・私は震災で父と祖父母の3人を亡くしました。1日1日悔いのないように過ごしてほしい。
- ・当たり前に過ごしている毎日は決して当たり前ではない。毎日を大切に生きて欲しいです。

- ・不自由なく暮らせる今が幸せであることを考え、いざという時に支え合う力を身につけよう。
- ・今ある毎日が永遠には続かないかもしれないということを少しでも考え毎日を大切に生きてください。
- ・この時代、いつどこで災害、地震に遭遇するかわかりません。自分の命の大切さを日々感じて生きてほしい。
- ・当時、高校3年生、当たり前と思っていた日常を突然失いました。子供達には、日々、感謝しながら後悔しないよう生きてほしいです。
- ・私が被災したのは小学6年生の時でした。当たり前前の日常が一瞬にして変わることがあります。当たり前前に感謝し、今を大切に生きてほしいです。
- ・今この瞬間一緒にいる人を大切にしてほしい。そして生きていること大切な人がそばにいる事は奇跡的で素晴らしいことなんだと思って欲しいです。
- ・震災で神戸で暮らす私たちは、大切なものを失いましたが、「大切なものは何か」に気づくことができました。“あなたにとっての”大切なものを神戸のまちで育んでいってください！
- ・震災でクラスメイトを亡くし、先程まで一緒にいて当たり前だった事は一瞬で失くなる事を思い知りました。今、自分の周りにはいる人は当たり前にはいません。大切にしてください。
- ・知ることは繋ぐこと。命も学びも守り繋いでいくことが大切です。
- ・心配しすぎなくても大丈夫！そのときどうすればいいかお家の人としっかり話しをしてね！
- ・できれば経験してほしいけど防災の知識を得れば、きっと自分や家族、大事な人を守れます
- ・その日は突然来ます。いつ、どんな状況でも自分の命を守れるように生き残る知恵を身に付けてください。
- ・怖がりすぎなくても良いんだよ。でも、未来で役に立つこともあるかもしれないから、色んなことを学んで、知っておいてね。
- ・震災当時わたしは10歳でした。あの時の風景、匂い、まだ覚えています。過去会ったことを知る、忘れない、それが1番の防災です。
- ・あれから30年経ち、わたしは今看護師として被災者を助ける側の人間となりました。有事の際に、自分を守れる知識と行動が重要です。たった1つの命を大切に。
- ・毎年、地域で防災訓練が行われていると思います。できれば毎年参加して、ちょっと忘れたやり方を思い出せたら、もしもの時に活かせると思います。災害はいつ起こるかわかりません。
- ・自分自身は経験していなくても、身近にいる大人は震災を経験したことがある。その人に年に1回は話を聞いてみてほしい。その時どんな事があって、どんな風に生活していたのか。どんな事に困ったけど、こんな風に助けてもらったなど。
- ・当時、とても幼かった私でも、真っ暗の中、親が上になり、助けてくれた事、学生になって、当時の映像を見たり、体験できる場所に行ったり、地区によっては、伝えられている話を聞いて育った私も、震災に備えておかなければならないと思っています。それぞれが、興味のある視点から、いろんな形で学んでもらいたいなと思います。
- ・いつも通りの毎日を大切に。人と人のつながりを大切に。
- ・日頃からの顔見知りじゃないと困った時に絶対助け合えない！
- ・『防災』とは災害のない日々の中で『人とつながる』ことです。
- ・日頃から地域の人と繋がり、震災の体験談はしっかり聞いて欲しいです。
- ・いつ起きるかわからない災害に備えること、周りの人達と助け合う気持ちを持つことを大切にしてください
- ・人と人のつながりこそが防災に対する一番の対策だと思います。家族や友人そして自分の住む街について沢山話しをしてより多くの人と関わって生きて欲しいと思います
- ・つつい普通段の生活に追われ、忘れがちになりますが、防災について考え、まず自分の命を守ること、自分の以外の命も守るために地域と協力して、普段からの地域と関わりながら生活することの大切さを伝えていきたいと思っています。
- ・自分の命、家族の命を守ろう！
- ・命を守ることを覚えて欲しい。
- ・命を大切に。みんな誰かの宝物です。
- ・命を大切に生きて！周りの人を大切に！
- ・自分の命を守るため、できることを考えよう。
- ・この経験があったから、誠実に生きようと思う
- ・自分で命を守る行動を考えてそれを実行してほしい
- ・今日を大切に。命を大切に。30年前の神戸からの伝言です。
- ・どんな災害でも「生きる」事が何よりも大切です、自分自身や家族の命を守るために防災の意識を高くして欲しいです。
- ・普段からの備えと、心構え、むやみにネットの情報に惑わされず、自分の目で見て判断する決断力を持って下さい、最優先は命を守る行動。
- ・震災を体験した者としては、震災を他人事とは思わずに、自然災害はいつ起こるか分からないので自己判断と指示誘導等の判別をしっかりと出来る様に自分の命は自分で守らないといけない自覚をして欲しいです。
- ・日頃からの備え 家族との集合場所を決める
- ・背の高い本棚や家具の近くにベッドを置かない！
- ・命を守ることを考えて、いつでも最低限の備えを。
- ・他人事と思わず日々備えを怠らないようにしましょう
- ・いつ起こるかわからないので常に備えの意識が大切です。
- ・地震や災害にしっかり備えて、日々は明るく過ごせますように
- ・普段から意識高く家族や神戸を守るために防災に身構えましょう。
- ・自分の身は自分で守る。いつ起こるか分からない災害に日頃からできる備えをしよう！
- ・防災は特別なことではなく、毎日の暮らしの中で、ほんのちょっと意識してみてください。
- ・備えあれば憂いなし、過去の震災から色々学んで自分達の人生に活かして欲しいと思います。
- ・17才での被災から30年、今後もいつ起こるかわかりません。物品も心も備えが必要です。
- ・地震は突然起きるととても怖い自然災害です。とっさに自分の身を守るには日々の訓練も大切です。
- ・同じようなこわい思いをしなくていいように、日頃から防災を意識して、用意できるモノ、コトは準備して、過ごしましょう。
- ・私が住む東灘区は想像を絶する被害を受けました。地震を予防する事は出来ませんが日頃からの備えが大事です。まさかと思う事が実際に起こりました。日頃からしっかり訓練に取り組んで下さい。その備えがあなたと大事な人を守ります。
- ・毎年の避難訓練をしていると必ず身の助けになります。
- ・自然の営みを人災にしないために、日頃からの防災意識を高めておきましょう。

- ・生かされていることを、生き合うことを未来に繋げよう
- ・震災で命を落とした方がたくさんいた事を私たちは忘れずに生きていこうね！
- ・一度傷ついたこの街は、立ち上がり方を知っています。その歴史を知る君たちに期待します。
- ・今ある当たり前前の日常が一瞬にして無くなった日があった事をどうか忘れないで、それがどういう事か思いを馳せて欲しいです。
- ・当時 19 歳だった私が震災について振り返る時、家族に守られ、友人に助けられた温かな気持ちになります。自分を守ってくれる身近な大切な人を支えられる人になってください。
- ・震災で失った物もたくさんありますが、震災を経験したからこそ分かる事もあります。今皆さんが経験していることはいつかきっと誰かの為になるので、まっすぐ前を向いて一歩ずつ歩んでください。
- ・私は震災時は 20 歳でした。自宅は長田区にあり、全焼しました。震災が起こるまで、防災教育はあまりなかったと思います。震災があったからこそ、備えが必要な事を心掛けるようになりました。神戸に起こった出来事を知って二度とあんな悲しい思いをすることのないように願っています。
- ・出かける時はどこに行くか、誰といるかを必ず親に伝えてください。
- ・「行ってきます」など別れを笑顔で出る、笑顔で見送るを心掛けたい
- ・災害は突然起こるので、日頃より意識しておかなくては慌ててしまいます。
- ・最後まで助かる方法を考えて行動すること。布団をかぶるだけでもケガの大きさが小さくなるよ
- ・冷静になる事、決して悪ふざけはせず先生の指導に従う様にしましょう。周りに大人がいない時はまず自分の身、特に頭を守りましょう普段の訓練通りに素早く行動しましょう。
- ・何気ない毎日が一番幸せ
- ・今あるあたりまえの生活はあたりまえではない。
- ・“当たり前前の日常”は、本当に幸せであるということ。
- ・愛する人のため、自分のために、今を大切に生きようね
- ・神戸の復興の力、人が前向きに生きる力を未来に伝えてください
- ・今のこの美しい神戸があるのは当時頑張ってくださった方がいたんだよ
- ・神戸にかかわるすべての方の力でここまで来られたことに感謝します。
- ・当たり前前の毎日に感謝しながら、心の片隅に万が一を持っていてください
- ・復興した神戸。この景色は当たり前前ではない。震災を忘れてはならない。
- ・今ある便利な生活、当たり前前の日常を毎日送れる事に感謝して生きて欲しいです。
- ・震災は突然やってきます。いつもの普通の生活をもっと大切に過ごしてください。
- ・震災で、人生が一転することもあり、いつもの当たり前前の日常が送れなくなるんだよ。
- ・一日一日を大事に生きて欲しい。どんなに嫌な事があっても、災害以上の嫌な事はないので。
- ・高校生の時に御影で震災に遭いました。当たり前前や普通のことは一瞬でなくなります。今を大事に。
- ・まずは地震のことをできるだけ多く学び、その上で正しい身の守り方を常日頃から心がけて生活して下さい
- ・蛇口から水が出て、電気がついてゲームができてお湯が湧かせる、当たり前前の事に時々「ありがとう」って言うてね。
- ・今当たり前前に過ごしている日常は一瞬にして無くなる事もあります。難しいですが日々に幸せを感じ過ごしてください。
- ・防災は自分を守るための大事な知識です
- ・他人事とは思わず、自分事として防災教育をして下さい。
- ・正しい知識をつけ、人と繋がり、工夫できる人になって欲しい！
- ・地震のことをよく知っておくと、気持ちと行動に余裕が出来るよ。
- ・地震への備え、起こったらどのように行動するか、しっかり学んでほしい。
- ・いつ、どこで、天災が起こるかわからない。それを恐れずに、防災知識を身につけて過ごしてほしいと思う
- ・地震で生き埋めになった記憶が辛い時が未だにあります。地震に遭っても必ず助かる防災を行なってください。
- ・幸せ運べるように。この詩の詩を しっかり考えて、震災を風化させない、心と絆を作っていく、そんな未来にして下さい。
- ・地震だけでなくさまざまな災害が頻繁しています。みんなが正しい知識と行動で大切な命を守れるようにして欲しいです。子供は家族だけでなく国の宝です。
- ・経験や知識が生死を分けることがあります。また、高齢化により大人の手が足りないことも予想されます。皆さん一人一人が当事者意識を持ってしっかりと学ぶことが誰かを守り、助けることになります。
- ・私は当日小 4 で地震の日に限って父は旅行、母は新聞配達で居ませんでした。弟たちを守るのは自分しかいないと小さい弟たちと布団をかぶり恐怖に耐えたことを今でも覚えています。伝えたいのは自分の身は自分で守るしかない、その為にしっかり知識をつけるに越したことはないと言う事。
- ・地震はいつ来るか分かりません。分からないからこそ、知識が必要なのです。知識があれば、自分と大切な人を守る事に繋がります。震災関連の本を読んだり、震災体験者のお話を聞くだけでも意識は変わります。神戸には震災をたくさん学ぶ場所、教えてくれる方がいます。YouTube など気軽に知るツールになります。自分に出来る事は何か？と、そんな意識で阪神・淡路大震災を学んでみられると嬉しいです。
- ・「人とのつながり」の大切さ、家族の存在の有り難さ
- ・災害は、いつ何処で起こっても命を守る事を最優先に助け合いをする。
- ・ふだんから地いきみんなでなかよくくらす。忘れがちだけど大切な防災対さくです。
- ・元気なあいさつで、まちに住むみんなと仲良くしよう！助け合う力が防災にもつながる
- ・日々の暮らしから全てが変わってしまうが、人と人の繋がりが如何に大切か実感する事が出来る。
- ・何時どんな時に起こるかわからない恐さを持って欲しい。そして、命を守り、助け合う事が大事。あの日も助け合って助かった命がある。
- ・子供たちの方が防災に積極的で、教えられることも多いです。その素直さを大切に！
- ・いつ何が起こっても後悔のない様、やりたいことは先延ばしせず、とことんやりきる人生に！